

トランク輸送状況の実態調査について

一般社団法人岡山県トラック協会

1. 実態調査の依頼

(1) 実態調査の内容

事業者調査票 平成27年7月分の実態調査
 ドライバー調査票 平成27年9月14日(月)～20日(日)まで
 の連続7日間の運行実態調査

(2) 実態調査依頼

- ① 調査依頼事業者数 30事業所
- ② 調査依頼ドライバー数 124名
- ③ 調査依頼年月日 平成27年8月18日～8月27日
- ④ 調査依頼方法

事業所を直接訪問又は来訪時に、趣旨及び調査概要を代表者あるいは責任者、
 運行管理者等に説明して調査依頼した。

なお、調査対象事業者の選定に当たっては、地域性、車両規模等のバランス
 を考慮して選定した。

2. 実態調査の回答

- (1) 回答事業者数 30事業所 (回収率 100%)
- (2) 回答ドライバー数 122名 (回収率 98.4%)

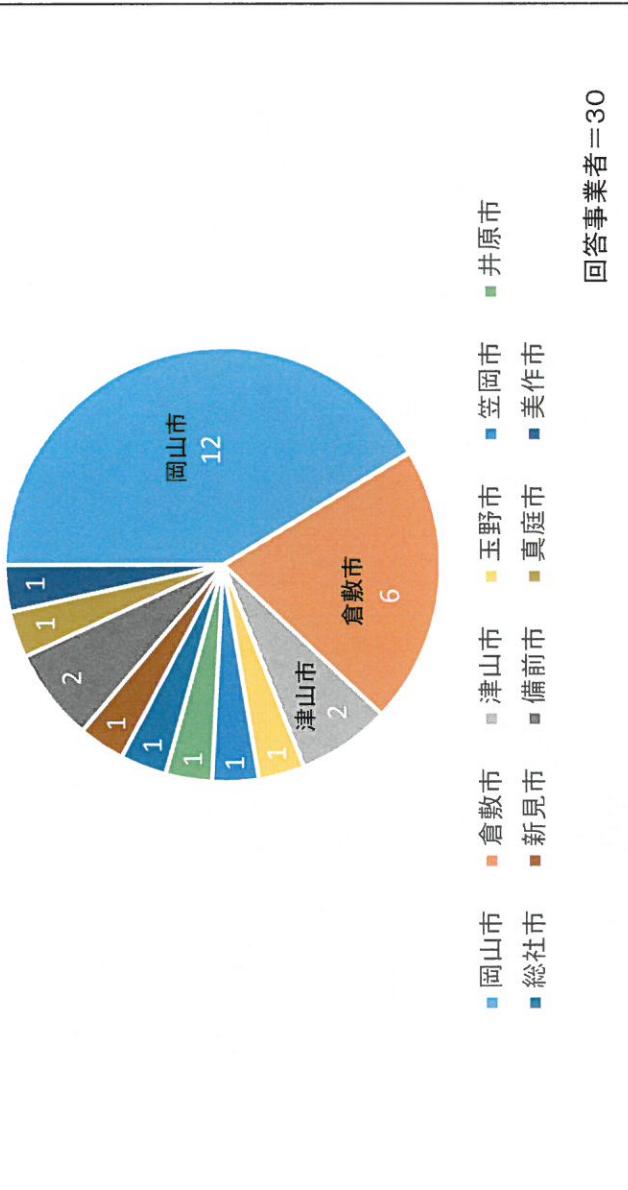
(参考)

全国の実態調査概要

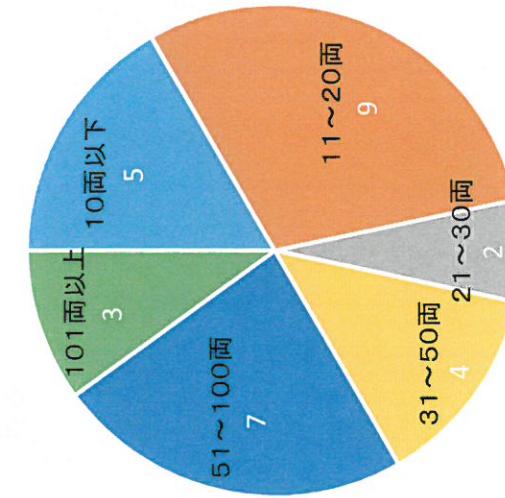
| | 事業者用調査票 | ドライバー用調査票 |
|-------|---------|-----------|
| 回収目標数 | 980社 | 4,900名 |
| 回答数 | 1,252社 | 5,609名 |

トラック輸送状況の実態調査結果について

回答事業所の所在市町村

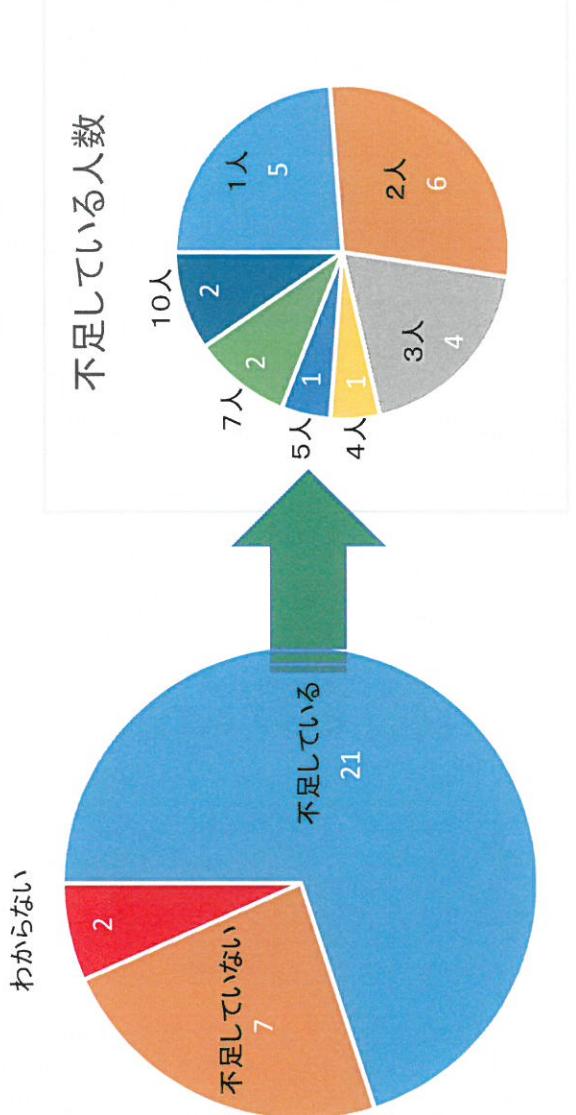


問2. 回答事業所の保有車両台数

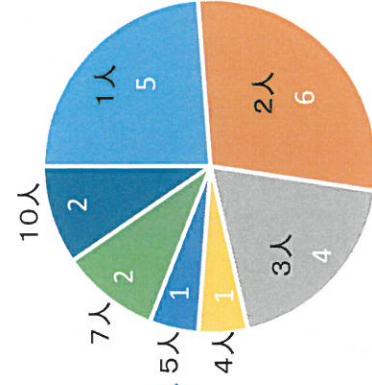


回答事業者 = 30

問5. ドライバーの過不足状況

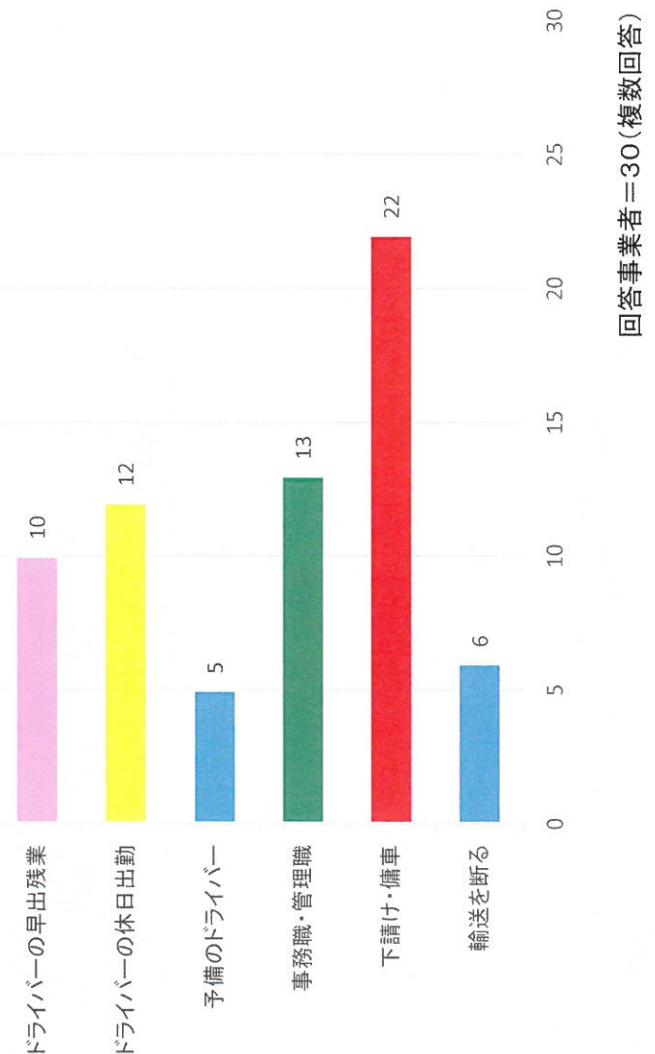


不足している人數



回答事業者=30

問6. ドライバーが不足している場合の対応



回答事業者=30(複数回答)

問8. 荷主に対する時間短縮(作業効率化)への協力依頼

真荷主に協力依頼した

20

元請け運送事業者に協力依頼した

9

協力依頼したいができない、

6

協力依頼をしたことがない、

8

0 5 10 15 20 25 30

回答事業者=30(複数回答)

問9 労働時間短縮に向けたの必要な対応

(1) 荷主側で必要と思われるのこと

荷役の機械化

5

商慣行の改善

4

発注時刻の厳守・前倒し

14

出荷時刻の厳守・後ろ倒し

6

出荷時刻の厳守・前倒し

16

荷役作業の削減・解放

12

配達指定時刻の延長・柔軟化

12

配達先での手待ち時間の削減への口添え

15

物流施設の拡充・整備

8

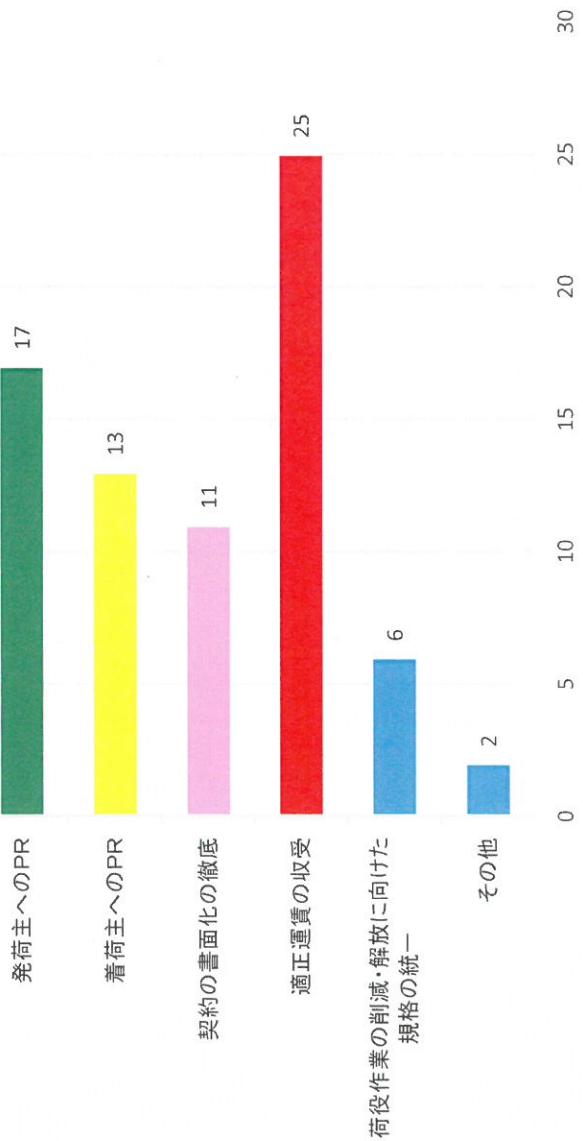
その他

6

0 5 10 15 20 25 30

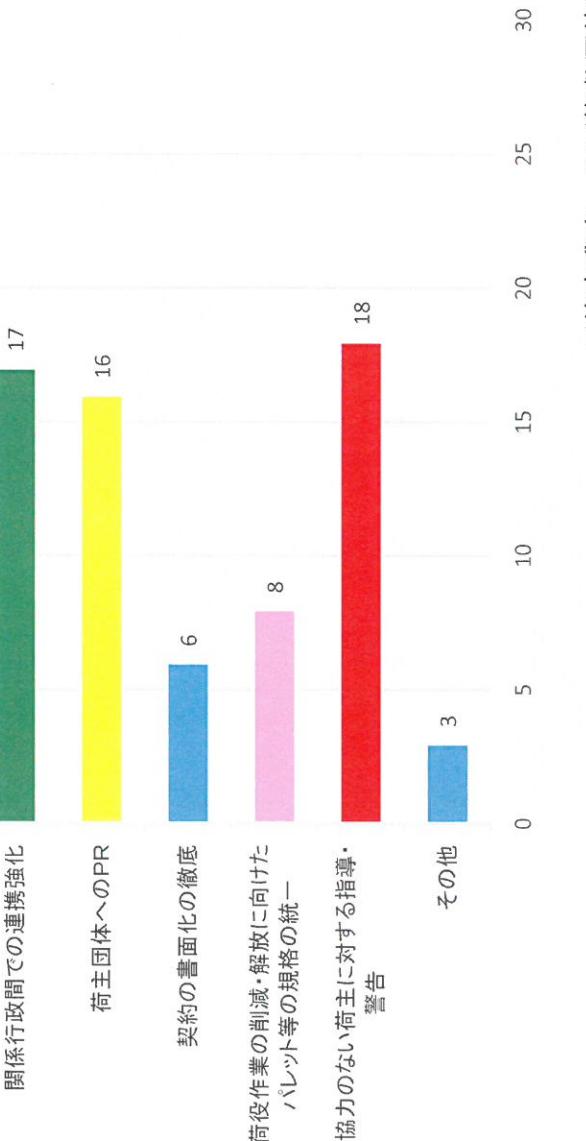
回答事業者=30(複数回答)

問9 労働時間短縮に向けた必要な対応
(2) トラック運送業界全体として必要と思われるること



回答事業者 = 30 (複数回答)

問9 労働時間短縮に向けた必要な対応
(3) 行政等への協力要請が必要と思われるること



回答事業者 = 30 (複数回答)